

令和3年度 さいたま市立大宮北小学校 学校関係者評価書

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 学校関係者評価委員 7名
- (2) 実施回数 2回 ①令和3年6月 2日(水)
②令和4年2月18日(金)

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- ・引き続き、児童との信頼関係を大切にして、教育活動を充実していくようお願いしたい。
- ・「よい授業のアンケート」の取組などから、授業指導力を磨き続けて、さらにわかりやすい質の高い教育が展開されるように期待している。
- ・GIGAスクール構想で、大宮北小はタブレット端末などの活用で成果を発揮しているようである。さらに授業改善を図り、小・中で連携して教育活動が充実するよう望む。
- ・公民館の活動の中から様々な面を通じて「地域の中で子どもを育てる」機能が高められ、学校を支援するようになりたい。コミュニティ・スクールに向け、さらに連携をとりたい。
- ・「いじめ」防止や発見の取組について、見極めや説明が難しい。その指導をていねいに行うように望む。
- ・学校内外の安全安心についての取組は高い評価であるが、それを支えるネットワークや指導を継続・維持したい。特に、周辺の交通事情はかなり危険な状況なので、まさに児童への継続した指導と保護者・地域との連携を更に深めるようにしたい。
- ・働き方改革に関し、教職員の超過勤務(時間外在校時間)が微減とのことだが評価していない。児童を指導する教職員の態勢が、一人一人が健康で機能的な状態に調べてほしい。

3 学校関係者評価を受けた学校の対応

- 「わかる授業」の実現のため、より一層の授業改善と学力の育成を推進する。そのために校内研修の充実、ICTの活用、授業実践を通じたOJTの取り組みを通じ、組織的な指導力の向上を図っていく。
- より一層の児童観察・児童理解に努め、気持ちに寄り添い理解を得ながらの指導を継続していく。その方策として新たに多くの教職員が関わることのできる教科担任制等を工夫し、組織的な指導体制の構築を推進する。
- 家庭・地域との連携・協働体制の推進のため、開かれた学校の視点から双方向の情報発信・交流を工夫するとともに、コミュニティ・スクール実施1年目の運営を計画的に進めていく。
- 教職員集団の協働の意識向上を推進する。そのために「学校における働き方改革」の視点も含めて、教職員が共通理解・共通行動に基づいて児童を指導できる「強い組織」への体制づくりを進めていく。